

平成26年第12回弘前市教育委員会会議録

日時 平成26年7月18日（金）
午後2時30分

場所 中央公民館岩木館2階大研修室

◇議事日程

- 1 開会宣告
- 2 定足数確認
- 3 会議録署名者の指名
- 4 会期決定
- 5 議案の審議
議案第30号 平成27年度から使用する小学校用教科用図書の採択について
- 6 閉会宣告

◇付議事件

議事日程に同じ

◇出席委員

- 1番 九戸 眞樹 委員、2番 前田 幸子 委員、3番 佐々木 健 委員、
4番 土居 真理 委員、5番 一戸 由佳 委員

◇説明のため出席した者の職氏名

教育部長 柴田 幸博、教育政策課長 櫻庭 淳、学校教育推進監兼学校教育改革室長 工藤 雅哉、学校指導課長兼教育センター所長 佐藤 忠浩、学校指導課長補佐 高木 隆雄、教育センター所長補佐 石川 みどり、学校指導課指導主事 成田 頼昭、学校指導課指導主事 石田 盛彦、学校指導課指導主事 三上 俊英、学校指導課指導主事 宮本 隆嘉、学校指導課指導主事 水梨 圭治、学校指導課指導主事 森 尚生、学校指導課指導主事 工藤 利彦、学校指導課指導主事 土岐 賢悟、学校指導課指導主事 三ツ橋 一弘

◇出席事務局職員

教育政策課長補佐 高谷 由美子、教育政策課総務係長 前田 修、教育政策課総務係主事 千葉 秀克

午後2時30分 開会

○委員長（九戸眞樹委員） これより、平成26年第12回弘前市教育委員会会議を開会いたします。ただ今の出席者数は5名で定足数に達しておりますので、直ちに会議を開きます。会議録署名者に4番土居真理委員と5番一戸由佳委員を指名いたします。会期は本日1日といたしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） ご異議ないものと認め、会期は本日1日といたします。

本日の案件は、議案1件ですが、議案第30号は、審議の結果が当市と同じく中弘地区教科書用図書採択協議会に加入している西目屋村教育委員会での審議に影響を及ぼすおそれがあることから、当該議案の審議については、弘前市教育委員会会議規則第12条第1項ただし書きの規定に基づき、これを公開しないこととしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） ご異議ないものと認め、議案第30号は、非公開で審議することといたします。なお、非公開とした議案及び関係資料は、会議終了後に回収しますので、お持ち帰りしないようお願いいたします。

それでは、議案の審議を行います。議案第30号の質疑等につきましては、教科用図書毎に説明と質疑応答を行い、最後に全体を通して質疑意見等がございましたらお伺いします。それでは、議案第30号平成27年度から使用する小学校用教科用図書の採択について事務局から説明をお願いします。

○学務指導課長（佐藤忠浩） 議案第30号平成27年度から使用する小学校用教科用図書の採択について説明いたします。

提案理由は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第6号の規定に基づき、平成27年度から使用する小学校用教科用図書の採択をしようとするものであります。

この事につきまして中弘地区教科書採択協議会の報告を受けた研究調査の経過及びこの後の指導主事の説明の仕方等について説明いたします。まず研究調査であります。平成26年5月26日第1回採択協議会で決定された採択基準及び規約等に基づきまして、7月1日から4日にかけて研究調査会を実施いたしました。その際の研究調査の結果が、お手元に配っております平成27年度使用小学校用教科用図書研究調査報告書にまとめられております。7月11日第2回採択協議会において、これらの調査研究に基づき主査から研究調査報告がなされ、種目ごとに選出されました。これにつきましては、お手元に配っております平成27年度使用小学校用教科用図書選出理由をご覧ください。次に指導主事からの説明について説明いたします。中弘地区教科用図書採択協議会からの報告に基づきまして、これより指導主事から説明いたしますが、国語から順番に11種目毎に説明いたします。説明の時間といたしましては1教科おおむね3分前後となっております。説明の仕方ですが、第2回採択協議会で選出された教科書について主な特色を説明いたします。その他の教科書につきましては、研究調査報告書をご覧ください。お手元に配っております教科書は、選出された教科書の

他に、今回の研究調査で特に配慮工夫がみられたとされる2社あるいは1社のものがあります。それ以外の教科書につきましては、委員長の前に1組用意してありますので、必要に応じてご覧いただければと思います。それでは国語から説明いたします。

- 学校指導課指導主事（成田頼昭）　　《国語について説明》
- 委員長（九戸眞樹委員）　　ただいまの教科用図書「国語」の説明に対しまして、御質疑等ございませんか。
- 2番（前田幸子委員）　　付録にかかるた用カードとありますがどのようなものですか。
- 学校指導課指導主事（成田頼昭）　　1年生の上巻をお開きください。「あいうえお」を学んだ後に、かるたを作って遊ぼうという教材があり、これを学ぶため付録として巻末にかかるたが付いております。
次に2年生の下巻をお開きください。今の学習指導要領から、神話や昔話など伝統的な言語文化が重視されるようになり、教科書に神話として「いなばのしろうさぎ」が取り上げられるようになりました。読み聞かせ等で学習した後に、巻末に人形として使えるものがあります。これにより登場人物の行動などを実際に操作して想像させるというふうに使います。このかるた用カードと紙人形の付録については、今回の教科書から新たに盛り込まれております。
- 2番（前田幸子委員）　　「項目」の「表記・表現・造本」に「カラーユニバーサルデザインを取り入れたりしている。」とありますが、取り入れたところを教えてください。
- 学校指導課指導主事（成田頼昭）　　教科書全般に関しまして、色使いが見やすく配慮されているとの調査研究委員からの意見がありました。例えば、5年生の下巻をお開きください。単元名としてどのような活動をするかをオレンジで示すとともに、下に黄緑色で学習の進め方を示し、見通しをもって学習ができるようになっております。色使いとともに学習過程が明確になるように配慮工夫をしているところもあります。
- 2番（前田幸子委員）　　先程の「いなばのしろうさぎ」みたいにカードを使っている他の教科書会社は無いのですか。
- 学校指導課指導主事（成田頼昭）　　カードを使っている会社は他にありませんでした。
- 5番（一戸由佳委員）　　付録が付くことにより値段に違いがありますか。
- 学校指導課指導主事（成田頼昭）　　値段については、文部科学省から直接教科書会社へいきますので、把握しておりません。
- 2番（前田幸子委員）　　「項目」の「総合所見」に「読書活動の充実が図られるよう様々な工夫をしている。」とありますがどのような工夫をしているのですか。
- 学校指導課指導主事（成田頼昭）　　すべての学年において、読みたい本というのが巻末に数冊ずつ簡単な内容で説明されております。例えば、5年生の下巻をお開きください。「みすず探しの旅」といって、詩人の金子みすずを発掘した矢崎節夫さんの伝記的な教材がありますが、それを学習した後に関連した図書を読みましょと本を紹介しております。このように、教科書だけではなく、日常の読書活動にも発展するような配慮工夫がなされております。

- 2番（前田幸子委員） 青森県の自然については、先程の白神山地の所だけですか。
- 学校指導課指導主事（成田頼昭） はい。
- 2番（前田幸子委員） 字間・行間・文字の大きさは、他の教科書会社と比べると見やすいですか。
- 学校指導課指導主事（成田頼昭） 6年生上巻をお開きください。今の学習指導要領では6年生において随筆を学び自分で書く事を学習することになっております。他の教科書会社に比べますと、行間が若干空いている事を感じることができると思います。見やすさですとか、自分が感じたことを書き込んだりすることなどの学習活動も考えられております。
- 委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（成田頼昭） 《書写について説明》
- 委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「書写」の説明に対しまして、御質疑等ございませんか。
- 1番（九戸眞樹委員） 時間的には、結構時間を取っているものですか？
- 学校指導課指導主事（成田頼昭） 年間35時間、週1時間程度となっております。
- 1番（九戸眞樹委員） 今の児童は筆を使いこなしているのですか。
- 学校指導課指導主事（成田頼昭） 基本的に3年生から毛筆を学びますので、3年生で習字道具を購入いたします。週に1時間程度、この教科書に基づいて習字や硬筆を学んでいきます。教室で掲示されているものは、これで学習したものが掲示されるという事になります。
- 4番（土居真理委員） 感想を述べさせていただきます。この教科書にペットボトルを工夫して使った後の後片付けが書かれていて、先生方にもヒントになるのではと思いました。
また、言葉の玉手箱で何故半紙というのかなど、いろいろな配慮がなされていて私個人もこの本が欲しいと思いました。
- 2番（前田幸子委員） 「項目」の「表記・表現・造本」に「4つの部屋を色別で表示したり、筆順を色別で示したりし、ユニバーサルデザインを意識している。」と記載されていますが、もう少し具体的をお願いします。
- 学校指導課指導主事（成田頼昭） 1年生の教科書をご覧ください。マス目の中を4つに区切って配置し、字をバランス良くマス目の中に書けるよう1年生の段階からの指導が大事になります。その時に、1の部屋、2の部屋、3の部屋、4の部屋に色をつける事により、4つの部屋というのを意識させるように配慮をしております。併せて17ページをご覧ください。左上に「、」や「。」「（」「）」の位置についても4つの部屋を意識づけさせております。この辺も色を使ったユニバーサルデザインによる配慮・工夫といえます。
- 委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（石田盛彦） 《社会について説明》
- 委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「社会」の説明に対しまして、御質疑等ございませんか。
- 2番（前田幸子委員） 青森県を内容的に意識しているのは意図的なものがあるのですか。また、他の教科書において青森県の扱い方というのはどの程度ですか。
- 学校指導課指導主事（石田盛彦） 歴史の教科書に関しましては、どの教科書も三内丸山遺跡を取り上げております。しかし、弘前の古町名を取り上げているのは東京書籍だけになります。他の教科書会社に比べますとかなり青森県の事例が多く使われております。
- 1番（九戸眞樹委員） 東日本のみの使用ですか。
- 学校指導課指導主事（石田盛彦） 全国で使われております。
- 2番（前田幸子委員） 竹島尖閣諸島については他の教科書とどの位違いますか。
- 学校指導課指導主事（石田盛彦） 教育出版の5年上巻をお開きください。竹島尖閣諸島については文章が長くかなり詳しく書かれております。領土問題が取り上げられてからは、国において中学校と高校の指導要領の表記を変えておりますが、小学校においてはそこまで取り上げることを求めておりません。教育出版は5年生の割に内容が多く、東京書籍は5年生で基本的なところに絞って出題していると感じております。
- 2番（前田幸子委員） 「項目」の「組織・配分・分量」に「6年生では、最後のページに、中学校社会科（歴史、公民、地理）を意識したページを設定し、中学校への接続に配慮している」とありますが説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（石田盛彦） 東京書籍の6年下巻をお開きください。小学校3年生から社会科学習を始め、勉強してきた事が中学校に行くときどういふ所に繋がっていくのかがはっきりと示されております。こういうふういきちんとページを設けて特集しているのは東京書籍だけになります。
- 2番（前田幸子委員） アニメキャラクターのドラえもんがいっぱい出てきますが著作権はどうなっていますか。
- 学校指導課指導主事（石田盛彦） 東京書籍で対応しております。
- 2番（前田幸子委員） 日々見ているかわいいキャラクターが出てくると子どもは興味を持ちますね。他の教科書にはありませんか。
- 学校指導課指導主事（石田盛彦） 他の教科書においてはイラストを使っていますが、有名なキャラクターは使われておりません。
- 2番（前田幸子委員） 「項目」の「組織・配分・分量」に「巻末の奥付に保護者メッセージを掲載」とありますがどういふことですか。
- 学校指導課指導主事（石田盛彦） 教科書の最後に保護者のみなさまへというふうにも家でも話題にして活用してくださいという意味で記載されております。
- 1番（九戸眞樹委員） 学年によって歴史や産業など主に学習することが違うのですか。

- 学校指導課指導主事（石田盛彦） 3、4年生で地域の学習をします。5年生では産業を含め日本全体の地理を勉強し、6年生で歴史と政治、国際的な事を勉強していきます。中学校になると、世界から日本、最後地域に戻ってきてまとめをするというふう
に逆からになります。
- 委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（石田盛彦） 《地図について説明》
- 委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「地図」の説明に対しまして、御質疑等ございませんか。
- 2番（前田幸子委員） 「項目」の「内容・程度」に「日本と関わりの深いアメリカ合衆国について、州名と主な都市名に英語表記した地図を掲載し、外国語活動でも活用できるように工夫している。」とありますが、勉強のためにも英語を使っているのは他の地図ではどうですか。
- 学校指導課指導主事（石田盛彦） 東京書籍をお開きください。東京書籍は情報を制限し見やすくしていますが情報の内容は薄いと感じております。
- 2番（前田幸子委員） 竹島尖閣諸島は記載されていますか。
- 学校指導課指導主事（石田盛彦） 東京書籍は日本の領土が記載されておりますが、竹島の写真は記載されておられません。帝国書院も日本の領土が記載されておりますが、特別特集して記載されているわけではありません。どちらにも竹島尖閣諸島の記載はありますが、特別写真を載せて大きくというわけではありません。
- 委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（三上俊英） 《算数について説明》
- 委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「算数」の説明に対しまして、御質疑等ございませんか。
- 2番（前田幸子委員） 「項目」の「組織・配列・分量」に「小中連携を意識した内容として「中学校へのかけ橋」という別冊」とありますが、どのようなものですか。
- 学校指導課指導主事（三上俊英） 「中学校へのかけ橋」という別冊は、6年間の学びの振り返りと、中学校で学習する内容について少し触れております。
- 2番（前田幸子委員） どの教科書についても当てはまる内容ですか。
- 学校指導課指導主事（三上俊英） 中学校1年生の学習内容は同じですので、どの教科書にも当てはまるようになっております。
- 2番（前田幸子委員） 「項目」の「内容・程度」に「数学的な考え方が身に付くよう、「算数でよく使う考え方」の項目が、2年生以上の巻頭に掲載され、類似、帰納、演繹などの考え方を例示している。」とありますが説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（三上俊英） 小学校の低学年から論理的な思考として、類似、帰

納、演繹という考え方が使われております。例えば、考え方の1番として、前に学習したやり方というのは類似的な考え方になります。2番目としては、きまりを見つけて先を予想するというのは、帰納的な考え方になります。決めた事、知っているきまりを基に新たな発見をするというのは、演繹的な考え方になります。これをそれぞれわかりやすい発達の段階に応じて例示されております。

○5番(一戸由佳委員) 別冊の「中学校へのかけ橋」は授業時間の中で取り扱うのですか。これも終わらせて単元が終了するということですか。

○学校指導課指導主事(三上俊英) そうです。これも指導計画の中に入っているものです。

○5番(一戸由佳委員) 5年生は学習内容が多くなっているのに、かなり教科書が厚く感じます。

○学校指導課指導主事(三上俊英) 中学校へのかけ橋と6年生の教科書を合わせると5年生と同じ位の厚さになると思います。

○2番(前田幸子委員) この「中学校へのかけ橋」は、必ず単元が終わってからでなくとも、途中で関連性のあるものは扱いながら進んでいけるようになっているのですか。

○学校指導課指導主事(三上俊英) それは可能です。単元を振り返るのと同じように入れ替えたり、関連性のある事を取り入れてやるのは可能です。

○1番(九戸眞樹委員) 5、6年生になると教科書が重くなると思いますが、学校に置いておいてもいいものですか。

○学校指導課指導主事(三上俊英) 家に持ち帰ることが基本になります。

○2番(前田幸子委員) この教科書に付いてるマークはどの教科書にも付いているものですか。

○学校指導課指導主事(三上俊英) 算数的活動というのは学習指導要領の文言の1番最初に出てきますので、どの教科書も重視しているのですが、算数的活動のマークが付いているのは学校図書しかありません。

○1番(九戸眞樹委員) マグネットやおはじきセットなどの補助教材は別に用意することになるのですか。

○学校指導課指導主事(三上俊英) 補助教材については、別に準備することになります。

○委員長(九戸眞樹委員) 他にご質疑等はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(九戸眞樹委員) 次の教科用図書の説明をお願いします。

○学校指導課指導主事(宮本隆嘉) <理科について説明>

○委員長(九戸眞樹委員) ただいまの教科用図書「理科」の説明に対しまして、御質疑等ございませんか。

○3番(佐々木健委員) だんぶり池の写真は載っていますか。

○学校指導課指導主事(宮本隆嘉) 6年生の教科書に載っております。

○2番(前田幸子委員) 先程説明していただいた県内の写真について、特に弘前を載せているのは、載せる価値があるということだと思われるのですが、そのような意図は

分かりますか。

- 学校指導課指導主事（宮本隆嘉） 学校図書は今までも随分青森県内を特集しております。全国的にも弘前にはとても子どもの興味を引くような自然がたくさん残されているという事で掲載しているのではないかと考えております。
- 1番（九戸眞樹委員） 掲載について要望は出すものですか。
- 学校指導課指導主事（宮本隆嘉） 特に出してはおりません。
- 2番（前田幸子委員） 科学者の写真が載っていますが、名前などわかりますか。
- 学校指導課指導主事（宮本隆嘉） 教科書の裏表紙に科学者の名前や説明がされており、他社に比べ科学に興味を持ってもらえる内容になっております。
- 2番（前田幸子委員） 「項目」の「総合所見」に『『粒子』概念を意識した構成』とありますがどういうことですか。
- 学校指導課指導主事（宮本隆嘉） 今回の改訂において、小・中・高という学校間のつながりを大切にしようという事で粒子という系統を立てております。例を言いますと、4年生の教科書をお開きください。ここでは空気が圧縮された時の目に見えない空気の様子を色の濃さや粒で表現しております。次に5年生の教科書をお開きください。コーヒージュガーが溶ける様子を写真と粒で表しております。理科は、目に見えない現象を考えさせていくことになりますので、こういうモデル図を使っていくことで子どもたちが共通の土台で話し合えるという事を狙い表現をしております。実際小学校において扱いなさいという事ではありませんが、中学校、高校で必ず扱っていくことになりますので、その土壌という意味では特色ではないかと考えております。
- 2番（前田幸子委員） これを見て子どもたちが実験することへの発展性はありますか。
- 学校指導課指導主事（宮本隆嘉） ここで考えた事を確かめるために実験の方法を考え、結果考察といったとき自分の考えが合っていたと、このモデルで確認することができます。
- 委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（水梨圭治） 《生活について説明》
- 委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「生活」の説明に対しまして、御質疑等ございませんか。
- 2番（前田幸子委員） 教科書会社への提案ですが、生活上巻に和式のトイレのみが掲載されています。今、世間では洋式トイレを取り入れる傾向が強くなっていますので、和式・洋式両方を取り入れていく必要があると思います。教科書会社への提案ですので覚えておいてください。
- 1番（九戸眞樹委員） 和式・洋式が混在するというのが一番いい方法であり、経験するという意味でも大切なことだと思います。
- 学校指導課指導主事（水梨圭治） わかりました。
- 2番（前田幸子委員） 「項目」の「内容・程度」に「様々な人々と交流し、繰り返

し関わる場面を通し、活動が広げられるよう配慮している。」とありますがどう
うことですか。

○学校指導課指導主事（水梨圭治） 下巻をお開きください。ここではもっと知りたい、
調べたい町探検があり、豆腐屋さんやパン屋さんがあります。次のページを見ますと
インタビューカードがあります。こういう人たちにただ会うだけではなく、インタビ
ューカードや言語活動を通して、いろいろな人々と交流していく事を考えて作られて
おります。

○2番（前田幸子委員） 「項目」の「総合所見」に「幼児教育からスムーズに移行で
きるよう資料を工夫することで、主体的な活動を支えている。」とありますがどう
うことですか。

○学校指導課指導主事（水梨圭治） 上巻をお開きください。ここに生活科学び方図鑑が
ありますが、学びの基礎基本ともなる上手な話し方のひみつ、そして、上手な聞き方
のひみつなどの資料を揃えております。小学校の活動の学びにつながるような工夫が
されており、後に特集を組むことですぐ見られるという工夫もなされております。

○1番（九戸眞樹委員） 他のものと比べるとレイアウトがかなり斬新ですね。

○学校指導課指導主事（水梨圭治） はい。

○委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。

○学校指導課指導主事（森 尚生） 《音楽について説明》

○委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「音楽」の説明に対しまして、御質
疑等ございませんか。

○1番（九戸眞樹委員） 「君が代」が全部にありますね。

○学校指導課指導主事（森 尚生） 教育芸術の方は、最後に掲載されております。他の
出版社は、中ほどに歌詞の説明を加え2ページに渡り説明されております。

○2番（前田幸子委員） 「項目」の「内容・程度」に「音楽づくり」の教材が充実
とありますが、具体的をお願いします。

○学校指導課指導主事（森 尚生） 目次をお開きください。虹のマークがすべて音楽づ
くりになり、音楽の音を組み合わせ、重ね方を工夫しながら魔法の音楽を作りましょ
うとあります。当初この教材に関しては、先生方もどのように扱えばよいかと悩みま
した、今はかなり慣れてきております。

○2番（前田幸子委員） 教育芸術は音楽一筋でやってきた会社なので、ひと工夫あるか
と思います。例えば、共通教材としての「心の歌」がありますね。

○学校指導課指導主事（森 尚生） 目次をお開きください。「心の歌」は、太陽のマーク
になります。各項目バランス良く配置されております。

○委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。

- 学校指導課指導主事（工藤利彦）　　《図画工作について説明》
- 委員長（九戸眞樹委員）　ただいまの教科用図書「図画工作」の説明に対しまして、御質疑等ございませんか。
- 2番（前田幸子委員）　教科書を開いた際に、ページが開いたままになっていて戻りませんね。
- 学校指導課指導主事（工藤利彦）　開き方については調査研究委員からも作業した際に戻らないよう綴じ方に工夫がされているとの説明がされております。
- 2番（前田幸子委員）　他の教科書は戻りますが、戻らないのはいいですね。作業をするため開いておく必要があることを考えて作られていると思います。
- 「項目」の「表記・表現・造本」に「記号や用語には親しみやすいキャラクターを設定し」とありますがどういうことですか。
- 学校指導課指導主事（工藤利彦）　3、4年上巻をお開きください。クレヨンの形をしておりますオリジナルキャラクターが描かれていると思います。名前は「ちいろ君」と言います。内容によりキャラクターの色を使い分け、吹き出しでコメントを付けております。
- 2番（前田幸子委員）　「項目」の「総合所見」に「「つくりだす喜び」や「作品との出会い」が強調され」とありますが、どの辺からですか。
- 学校指導課指導主事（工藤利彦）　一番最初に見ていただいた写真を見ていただくと、子どもたちの表情の豊かさが教科書の特色になっていると感じられると思います。1年生から5、6年生になると同じような写真でも真剣に作っている顔つきが表れております。5、6年下巻をお開きください。目次に使われているものも子どもたちの表情が分かるように効果的に写真の表情を捉えながら使っているのも特徴かと思われま
- す。他社も写真を使っておりますが目次の示し方が違った示し方になっております。
- 2番（前田幸子委員）　各ページにここで使っている材料等がすべて示されとてもわかりやすいですね。
- 学校指導課指導主事（工藤利彦）　はい。
- 委員長（九戸眞樹委員）　他に御質疑等はありませんか。
- （「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員）　次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（土岐賢悟）　　《家庭について説明》
- 委員長（九戸眞樹委員）　ただいまの教科用図書「家庭」の説明に対しまして、御質疑等ございませんか。
- 2番（前田幸子委員）　今まで東京書籍であったのが、開隆堂になった一番の理由は何ですか。
- 学校指導課指導主事（土岐賢悟）　理由を何点かお話させていただきます。
- まず一つ目は、防災についてであります。前回の教科書採択から東日本大震災を経験しました。前回の教科書では防災についての内容がほとんど盛り込まれておりませんでした。今回は東京書籍、開隆堂いずれも防災についての内容が盛り込まれております。

東京書籍の防災の内容につきましては、日々の備えという項目で、ご飯の炊き方など3個所で示されており、基本的な知識という内容が盛り込まれているところです。しかし、開隆堂の場合は、防災マーク7箇所の点で実際にやってみようというコーナーに盛り込まれております。実践する場面の例で重点が置かれており、知識だけではなく実践していくという所に重点が置かれているところが一つ目の理由であります。

2点目は、食育についても重点を置いたところです。「項目」の「内容・程度」に「料理の留意点で、食物アレルギーのある児童への配慮がある。」とありますが、例えば、開隆堂には「ゆでてみよう」という事で、たまごのゆで方についての学習があります。ここには「たまごアレルギーがある場合」というふうに食物アレルギーを注意する項目が盛り込まれているところです。弘前市に住んでいるお子さんも食物アレルギーがあり、食物アレルギー対応給食を食しているお子さんがいるわけですが、学習指導要領の中には食物アレルギーについて学びなさいという項目はありません。しかし、食育という観点考えた時に、食物アレルギーを学ぶことで子どもたち相互に理解を深めると言う事がありますし、友達や家族の事を考えた調理計画を立てることに繋がっていくと思われれます。食物アレルギーは、偏見や誤解を招くこともありますので、子どもたちにとっては正しい理解を進めていくことも必要かと思えます。食物アレルギーのお子さんでも調理方法や味付けを変えたり、違う食品にすることで同等の栄養が取る事ができるといったように正しい理解を学んでいかなければいけません。

最後にガイダンスの点です。開隆堂の見開きの部分をお開きください。ガイダンスの項目が示されております。家庭科は5年生で最初に学習するとガイダンスに示されております。実際自分が誕生してから中学生と成長していく自分をイメージしやすい画面構成になっております。また、実際に5年生の学習を振り返って、6年生の学習で1年間学んでいこうという事で振り返りのページがあり、中学生に向かっても書かれております。実際にこれからを考える構成になっておりますので、いつでも2年間の中で確認して学習していけることとなります。この2年間の中で書き込みもできるようになっておりますし、2年間を通して活用するには非常に適した教科書ではないかと思われれます。これらが今回選出された理由になります。

- 3番（佐々木健委員） 開隆堂にはりんごの皮むきも載っていますね。
- 1番（九戸眞樹委員） ごはんとみそ汁の作り方の企画だけを比較しても、かなり分かりやすく丁寧だと思います。
- 学校指導課指導主事（土岐賢悟） 開隆堂はこれまでイラストが多かったのですが、今回は写真を多用しております。子どもが実際調理で見る目線で写真を撮っておりますので、非常に子どもたちにも解りやすくなっております。
- 委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（三ツ橋一弘） <<保健について説明>>
- 委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「保健」の説明に対しまして、御質

疑等ございませんか。

- 1番(九戸眞樹委員) 昔は保健の中で災害を学ぶことは無かったと思います。
- 学校指導課指導主事(三ツ橋一弘) これまでは学校や道路でのけがの予防が中心でありました。5、6年生の教科書には、2011年の津波のことですとか、その時の火災の様子なども掲載されております。このことから自分の身近なことについての知識として、それを活用して考えていく流れになっております。
- 2番(前田幸子委員) 学研教育みらいも分かりやすく見やすいのですが、東京書籍にした理由は何ですか。
- 学校指導課指導主事(三ツ橋一弘) 例えば教科書を開いた際に、1見開きが1単元時間1時間で終える構成になっております。開きますと左のページには学習の課題があります。そのあと学習活動として話し合ってみよう、考えてみよう、活用してみよう、そして最後のまとめに子どもたちが見通しを持って学習を進められるようになっていのも特徴かと思えます。また、量もちょうど良いバランスであると感じております。
- 1番(九戸眞樹委員) 弘前市は特に虫歯が多いようですが、虫歯についての記述に何か差はありますか。
- 学校指導課指導主事(三ツ橋一弘) 内容的には大体同じ内容になっているのではと思います。
- 4番(土居真理委員) 薬物乱用については、これからさらに増えると思われそうですからもっとページがほしいと思います。
- 2番(前田幸子委員) 「項目」の「表記・表現・造本」に「ユニバーサルデザイン書体を使用し」とありますが特に気を付けている点はありますか。
- 学校指導課指導主事(三ツ橋一弘) 具体的には「3」があります。小さくなると「8」に見えたりしますが、小さくなくてもわかるように、特にルビのあたりを見ていただきますとわかるかと思えます。
- 2番(前田幸子委員) 挿絵などの色使いを抑えている感じがして配慮を感じます。
- 学校指導課指導主事(三ツ橋一弘) 優しい色使いであると調査研究員も話しておりました。各社、カラーユニバーサルデザインを採用されておりますが、見た目優しい感じがするのが東京書籍でありました。
- 委員長(九戸眞樹委員) 他にご質疑等はありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長(九戸眞樹委員) それでは、議案第30号全般にわたる事項について御質疑等ございませんか。
- 2番(前田幸子委員) 要望です。私たち委員が事前に教科書を見る時間を案内していただきたいと思えます。来年は中学校がありますので、ある程度予備知識を得たうえで、これに臨みたいと思えます。弘前36校の小学校の子どもたちすべてが私たち全部の肩にかかっているわけですから、重く受け止めた形でやっていかなければ、私たち自身の意識も変えていかなければ、もっと前向きな形でやっていってこそ意味があると思えます。

- 4番（土居真理委員） 社運をかけてそれぞれの教科書会社が売り込んでいると思いますので、調査報告のほかに売り込み側のセールスポイントも教えていただきたいと思っています。
- 5番（一戸由佳委員） 土居委員がお話したように作り手側の意図やどうしてこのように作ったか等を知りたいと思います。
- 1番（九戸眞樹委員） そうですね。ワンポイントでいいので教えていただければと思います。
- 学校指導課長（佐藤忠浩） 今の件については教科書の見本と併せて各教科書会社からの趣意書がございますのでそれを見ていただくという形で対応したいと思っています。
- 1番（九戸眞樹委員） 学年によって違う教科書会社の方がいいと感じたりしませんでしたか。
- 学校指導課長（佐藤忠浩） だいたいの教科書は2学年まとめた内容になっており、流れができておりますので大丈夫かと思っています。
- 委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員） それでは、議案第30号を可決することにご異議ありませんか。
（「異議なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員） ご異議ないものと認めます。よって議案第30号は原案どおり可決されました。
- 以上で本日の会議に付議された案件の審議はすべて終了いたしました。これをもって平成26年第12回弘前市教育委員会会議を閉会いたします。

午後4時59分閉会

会議録作成者

弘前市教育委員会

教育政策課総務係主事 千葉 秀克

弘前市教育委員会

委員長 九 戸 眞 樹

署名者 土 居 眞 理

署名者 一 戸 由 佳